ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	No.1-L	調査位置				北　緯	36 ° 27 ' 41.3500 "
発 注 機 関	栃木県真岡土木事務所			調査期間	2008-03-04 ～ 2008-03-05	東　経	140 ° 06 ' 04.3700 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	78.97 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	8.00 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	77.87	1.10	1.10		盛土 (BS)	暗褐			ローム主体にて砕石混入多く、締まり良い。0.4m付近玉石を混入する。[0.60]GL-0.6mより、砕石混入少なくなる。炭化物若干混入		
	77.47	0.40	1.50		シルト (M)	暗灰		軟らかい	含水中位　雲母片、炭化物混入		
2	76.47	1.00	2.50		粘土 (CH)	茶灰～暗灰		軟らかい	含水多く、上部やや粘性ある。[2.00]GL-2.0mより暗灰色を呈し、粘性弱くなる。		03/05 2.15
	76.17	0.30	2.80		シルト質細砂 (FSM)	暗灰	緩い	軟らかい	含水多い　粒子微細で、シルト分混入多い。		
3	75.67	0.50	3.30		シルト (M)	暗灰	緩い	軟らかい	含水やや多い　砂分若干混入。		
4	74.97	0.70	4.00		細砂 (FS)	暗灰	緩い	軟らかい	含水多い　粒子やや粗く、雲母片、石英粒混入する。		
	74.17	0.80	4.80		礫混じり細砂 (FS-G)	暗灰	緩い		含水多い。礫分30%程度混入する。細砂を薄層状に挟む。ややルーズである。		
5	73.17	1.00	5.80		砂礫 (GS)	暗灰	中ぐらい		含水やや多い　マトリックスは細砂で締まり中位。礫径φ2～30mm程度。亜角礫主体である。		
6	72.17	1.00	6.80		軟岩 (WR)	暗青灰			含水少ない。風化著しく、砂岩質で砂状を呈す。所々角礫状を呈し、長石所々混入する。		
7					中硬岩 (MR)	暗青灰			砂岩で、岩石の風化は見られなく新鮮である。RQDは良く、コア採取率は80%程度である。		
8	70.97	1.20	8.00								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／15	1／15		2／30	2
1.45					
2.15	00／50			00／50	0
2.65					
3.15	00／15	1	1／5	2／30	2
3.45					
4.15	2	2	2	6／30	6
4.45					
5.15	4	5	7	16／30	16
5.45					
6.15	20	22	8／3	50／23	>50
6.38					
7.00	50／0			50／0	>50
7.00					
8.00	50／0			50／0	>50
8.00					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験	掘進月日
	03/04
	03/05